

「ユースエール」 十勝3企業認定

平田建設、東和工研、栗林建設



認定書を受け取った（左2人目から）平田建設の長谷川社長、東和工研の田中社長、栗林建設の須磨富美夫常務取締役。左は蒔田所長

若者の雇用・育成分野で優れた中小企業を認定する厚生労働省の「ユースエール認定企業」に、平田建設

（土幌町、長谷川雅毅社長）、東和工研（帯広市、田中雅人社長）、栗林建設（同、河西健一社長）が選ばれ、

9日に認定書が交付された。十勝管内では順に10、11、12社目。

平田建設は1965年創業で社員34人、東和工研は53年創業で社員52人。栗林建設は20年創業で社員34人。3社とも、働き方改革による業務への負担軽減や残業時間の削減により、要件を満たした。

この日、帯広公共職業安定所（蒔田真也所長）で認定書を受け取った平田建設の長谷川社長は「地元高校の生徒へ向けての現場見学や新人社員への専門的な研修も行っている。今後もそ

うした取り組みを盛んに行っていきたい」と話した。

東和工研の田中社長は「働く側の多様な要望に寄り添いつつ業務とのバランスを考えることが重要。認定されて終わりではなく、これをスタートにしてやっていく」と思いを語った。

また、栗林建設の阿部光博取締役総務部長は「若手社員が新人社員を教育する良いサイクルができていく。そうした取り組みを継続していきたい」と意気込んだ。（青池染）